

2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2023年2月14日

上場会社名 株式会社Fast Fitness Japan 上場取引所 東
 コード番号 7092 URL https://fastfitnessjapan.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 土屋 敦之
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 高嶋 淳 (TEL) 03-6279-0861
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	11,034	14.8	2,648	14.6	2,677	15.3	1,700	13.7
2022年3月期第3四半期	9,614	20.4	2,311	52.0	2,322	56.4	1,494	141.3

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 1,700百万円(13.7%) 2022年3月期第3四半期 1,495百万円(141.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	90.93	89.73
2022年3月期第3四半期	79.97	78.90

- (注) 1. 当社は、2021年4月1日付で普通株式1株につき1.3株、2021年10月1日付で普通株式1株につき1.2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。
 2. 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しておりますが、売上高及び利益に影響はありません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	20,973	11,007	52.5
2022年3月期	21,429	9,662	45.1

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 11,007百万円 2022年3月期 9,662百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	2.00	—	10.00	12.00
2023年3月期	—	10.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	15.00	25.00

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有
 2. 配当予想の修正については、本日(2023年2月14日)公表いたしました「2023年3月期配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。
 3. 当社は、2021年4月1日付で普通株式1株につき1.3株、2021年10月1日付で普通株式1株につき1.2株の割合で株式分割を行っております。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	6.9	3,000	1.8	2,950	0.2	1,500	△11.9	80.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	18,719,980株	2022年3月期	18,705,180株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	13,841株	2022年3月期	12,561株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	18,699,150株	2022年3月期3Q	18,694,791株

(注) 当社は、2021年4月1日付で普通株式1株につき1.3株、2021年10月1日付で普通株式1株につき1.2株の割合で株式分割を行っております。2022年3月期期首に当該株式分割が行われたと仮定し、株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づき作成したものであり、実績の業績等は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

なお、上記業績予想の前提条件及びその他関連する事項については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、『ヘルシアプレイスをすべての人々へ!』を企業理念として掲げ、24時間フィットネスジムの日本におけるパイオニアであるエニタイムフィットネスの運営を通じて「誰もが健康的に暮らせる、心豊かな社会」を実現することを目指し、店舗網の拡張や会員数の増強等、積極的な事業拡大を推進しております。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限の緩和により社会・経済活動に正常化の動きが見られる一方で、世界的なエネルギー価格の高騰や物価の上昇などにより、景気の先行きは不透明感が増しております。

当社グループが属するフィットネス業界におきましては、異業種からの参入による低価格帯ジムの出店が相次ぐなど、24時間型フィットネスジムは引き続き増加傾向にあります。このような環境のもと、当社グループが運営するエニタイムフィットネスは、1,000店舗を超える出店で培ったノウハウを活かした店舗開発と、「安全」「安心」「清潔」「快適」な店舗運営により、24時間型フィットネスジム業界においてトップシェアを維持しております。

このような経営環境の中、当社グループは、当第3四半期におきましてもファンクショナルトレーニングの無料体験キャンペーン等を実施する等、新規会員の獲得と既存会員の維持に努めてまいりました。これにより、店舗当たりの平均会員数は前年同期を上回って推移し、回復基調が継続しております。また、出店につきましては、様々な業種が新規出店の動きを活発化するなど物件取得環境が厳しさを増す中、既存FCオーナー様への出店サポートや新規FCオーナー様の開拓に注力しております。

このような取り組みにより、2022年12月末時点の店舗数及び会員数は以下のとおりとなりました。

1. エニタイムフィットネス店舗数

	前連結会計年度末 (2022年3月31日)	当第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結 会計期間末 (2022年12月31日)
		出店数	退店数	
店舗数合計	1,002	59	6	1,055
内、直営店舗数	165	5	0	※1 171
FC店舗数	837	54	6	※1 884

※1 FC店1店舗の直営店への承継を反映しております。

2. エニタイムフィットネス会員数

	前連結会計年度末 (2022年3月31日)	当第3四半期連結 会計期間末 (2022年12月31日)	増減率 (前連結会計年度末比)
会員数合計	64.5万人	71.0万人	10.1%
内、直営店会員数	9.9万人	10.8万人	9.1%
FC店会員数	54.6万人	60.2万人	10.3%

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は11,034百万円（前年同期比14.8%増）、営業利益は2,648百万円（同14.6%増）、経常利益は2,677百万円（同15.3%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税、住民税及び事業税を769百万円計上したこと等により1,700百万円（同13.7%増）となりました。

当社グループは、エニタイムフィットネスのブランド価値をさらに高めるため、FCオーナー様が出店するためのサポートの強化や、会員の皆様を選び続けたいくなる魅力的な店舗運営を推進してまいります。加えて、組織体制をはじめとするガバナンスの強化を図ることで、さらなる企業価値向上を目指してまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ455百万円減少し、20,973百万円となりました。これは主に、商品が増加したこと等により流動資産が22百万円増加したこと、並びに、繰延税金資産が123百万円減少したこと等により固定資産が477百万円減少したことによるものです。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ1,800百万円減少し、9,966百万円となりました。これは主に、未払金が481百万円減少したこと、並びに、借入金の返済により1年内返済予定の長期借入金及び長期借入金が1,207百万円減少したことによるものです。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,345百万円増加し、11,007百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益1,700百万円を計上したことによるものです。この結果、自己資本比率は52.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月13日に公表いたしました連結業績予想を変更しておりません。当業績予想は、新型コロナウイルス感染症の影響が通期にわたって継続する想定で策定しております。今後の業績動向を踏まえ、連結業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示することといたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,457	9,166
売掛金	1,217	1,145
商品	145	260
前払費用	342	353
その他	109	378
貸倒引当金	-	△10
流動資産合計	11,272	11,294
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,422	7,681
工具、器具及び備品	3,769	3,890
減価償却累計額	△4,167	△4,855
土地	0	0
建設仮勘定	2	3
有形固定資産合計	7,028	6,721
無形固定資産		
のれん	92	105
ソフトウェア	75	47
その他	5	4
無形固定資産合計	173	157
投資その他の資産		
投資有価証券	1	2
長期貸付金	251	239
長期前払費用	595	570
敷金及び保証金	1,305	1,326
繰延税金資産	687	564
その他	113	97
投資その他の資産合計	2,955	2,801
固定資産合計	10,157	9,679
資産合計	21,429	20,973

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	126	40
1年内返済予定の長期借入金	1,635	1,586
未払金	936	455
未払法人税等	545	344
契約負債	1,923	1,904
賞与引当金	145	119
役員賞与引当金	26	6
その他	337	562
流動負債合計	5,677	5,020
固定負債		
長期借入金	4,808	3,650
資産除去債務	1,045	1,088
その他	235	206
固定負債合計	6,089	4,945
負債合計	11,766	9,966
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,173	2,183
資本剰余金	2,112	2,123
利益剰余金	5,420	6,746
自己株式	△44	△46
株主資本合計	9,662	11,007
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	0
その他の包括利益累計額合計	0	0
純資産合計	9,662	11,007
負債純資産合計	21,429	20,973

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	9,614	11,034
売上原価	5,459	6,232
売上総利益	4,154	4,802
販売費及び一般管理費	1,843	2,153
営業利益	2,311	2,648
営業外収益		
受取手数料	22	34
受取保険金	31	14
違約金収入	8	34
その他	2	1
営業外収益合計	65	84
営業外費用		
支払利息	30	26
支払手数料	20	2
株式交付費	0	0
為替差損	2	26
その他	-	0
営業外費用合計	53	55
経常利益	2,322	2,677
特別利益		
預り保証金返還免除益	-	12
特別利益合計	-	12
特別損失		
解約違約金	1	-
固定資産売却損	0	-
固定資産除却損	8	9
減損損失	-	72
特別損失合計	10	81
税金等調整前四半期純利益	2,312	2,608
法人税、住民税及び事業税	673	769
法人税等調整額	144	138
法人税等合計	817	908
四半期純利益	1,494	1,700
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,494	1,700

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	1,494	1,700
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	0
その他の包括利益合計	0	0
四半期包括利益	1,495	1,700
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,495	1,700

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年7月22日開催の取締役会決議により、2022年8月19日を払込期日とした譲渡制限付株式報酬制度としての新株式の発行を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が10百万円、資本準備金が10百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が2,183百万円、資本準備金が2,123百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

当社グループは「エニタイムフィットネス」の単一ブランドで、国内においてフィットネスジムの店舗展開をしており、事業区分は「フィットネスクラブ運営事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

当社グループは「エニタイムフィットネス」の単一ブランドで、国内においてフィットネスジムの店舗展開をしており、事業区分は「フィットネスクラブ運営事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。